

わたしの 歩んだ道

Vol.23

はやし りさ 林 里紗 (フルート奏者)

春日井市出身。名古屋芸術大学音楽学部演奏学科卒業。かすがい「人・夢創り」文化スポーツ大使。コンサートグループ「花の詩」会員。春日井市立西部中学校在学中、部活動でフルートを始め、平成25年に横浜国際音楽コンクール管楽器部門大学生の部で第1位に。現在は、フルート講師や、東海地方を中心に、全国で行われるさまざまな演奏会に出演するなど、幅広く活動中。



小学生の頃までは 人前に入るのが苦手

私は、恥ずかしがり屋なタイプで人前に入るのが苦手でした。習っていたピアノでも、みんなで一緒にワイワイ楽しく演奏するのは好きでしたが、発表会など人前で弾くことはすごく嫌でした。そんな自分を变えてくれたのがフルートです。

フルートとの出会いは 姉の演奏会

フルートとの出会いは小学3年生の時。姉が中学校で吹奏楽部に入っていて、その演奏会で聞いたフルートの音色や、演奏されていた方の姿にあこがれて興味を持ち、中学生になったら自分もフルートをやりたいと思いました。

芽生えたライバル心が 自分を変える

中学生になり吹奏楽部に入部しましたが、フルートを担当する際には、希望する部員とのオーディションを勝ち抜かなければなりませんでした。そこで、初めて今まで自分になかった競争心が芽生え、負けられないという強い思いで一生懸命練習した結果、フルートの担当

に選ばれました。

そして、演奏会に向けて家でも頑張って練習するようになり、演奏會上達することに喜びを感じるようになりました。そこからは人前で吹くことが、恥ずかしさから楽しさに変わっていきました。ここまで本気で自分と向き合えたのもフルートが初めてです。

一つ一つの積み重ねが、 自身を音楽の道に

高校でもフルートを続けたいと思い、吹奏楽部に入部しました。最初は、みんなで楽しく演奏したいという思いで活動していました。そんな中、吹奏楽部だけでなく学校以外にも練習を重ねていくうちに、一人で演奏する楽しさをもっと勉強していきたくてという思いが強くなり、音楽の道に進むことを心に決め、音楽の専門大学に進学しました。

チャレンジを続けさらに成長

大学では、賞を取ることを目標にたくさん国際音楽コンクールに出場してきました。しかし、一次審査で何度も落選するなど、うまくいかないこともいっぱいありました。それでも、次に生かすことを考え、

乗り越えてきました。その頑張りが実り、横浜国際音楽コンクールで初めて1位をとったときは、本当にうれしかったです。

多くの方に音楽を 届けていきたい

新型コロナウイルス感染症の影響で、皆さんが暗い気分になっていくと思います。だからこそ心温まる演奏を届けていきたいと思っています。文化スポーツ大使としても、一人でも多くの方に音楽の楽しさを伝えていきたいです。



夢をかなえるために

まずはいろいろなことにチャレンジして、自分が好きなことや夢中になれることを見つけてください。そして、それが見つかったら、諦めずに努力を続けることが大切です。そして、夢に向けてチャレンジし続けてほしいと思います。